

世界の強磁場実験設備の動向と研究の進展 調査専門委員会

活動方針及び報告書

<委員長>	松本 真治
<委員会コード>	BASC1051

目 的	世界各地の定常強磁場実験設備の現状と強磁場利用状況、および強磁場発生技術について調査し、最新の動向と今後の方向性を示すこと。				
内 容	世界の定常強磁場実験設備の現状と強磁場利用状況を調査する。調査と平行して、磁石の設計・製作技術、強磁場発生用超電導線材など、強磁場発生技術について理解することで、定常強磁場実験設備の必要性・可能性について検討し、設備の将来像を示す。				
現状及び成果 (成果については、 具体的に箇条書き にてお書き下さい)	<p>本委員会は平成27年2月に発足し、電気メーカー、超電導線材メーカー、超電導線材・磁石メーカー、大学、国立研究機関の計9名で構成した。平成28年度は、2回の委員会を開催した。必要検討事項は、適宜メール等にて検討を行った。主に以下の点を中心に、調査、検討をおこなった。</p> <p>1) 調査項目、役割分担、調査・報告の工程確認 2) 各調査項目の調査 3) 調査が完了した内容をまとめ、報告書を作製(未完了)</p> <p>以上により、世界各地の強磁場実験設備の現状、強磁場利用状況、強磁場発生技術の最新の動向と今後の方向性について調査を実施、報告書(未完了)を作製。平成29年1月をもって本委員会を解散した。</p>				
今後の目標及び その進め方	<p>1) 報告書原稿の提出 2) 報告会の開催</p>				
調査結果の報告	調査報告書の形態			報告書原稿の提出時期	
	<p>1. <input type="radio"/> 技術報告 2. <input type="checkbox"/> 単行本 3. <input type="checkbox"/> その他 ()</p>			平成29年1月	
	集められた金額の総額		今年度、支出された金額		
協同研究委員会の場合 委員会活動費の徴収の有無、 及び支出について	0円		0円		
	本委員会	幹事会	その他 (研究会等)	設置年月	平成27年2月
本年度の開催回数	2	0	0	解散年月	平成29年1月
来年度の開催予定回数	—	—	—	本報告書 提出年月日	平成29年3月31日